

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	一般レストラン（経営者）	・キャッシュレス決済業者のキャンペーンが3月に予定されていたり、当市の新年度予算に商工関連対策企画が組み入れられているという噂もあるため、天候に大きく左右されることがなければ、良くなるはずである。4月から当店の周年キャンペーンを行う影響もあるため、良くなるようにしたい。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・忙しくなったからといって、葬儀屋の理念である人の不幸に付け込まないことや、事前の見積り、丁寧な施行等をしっかりと守っていきたい。
	○	スーパー（経営者）	・前年と比べて恐らく来客数は減少する。道路拡幅で居酒屋が閉店したり、1日3回来店していた客が老人ホームに入居するなどあり、新規の客を増やさなければ、来客数は増えない。一方、新規取引先が増えるため、これから忙しくなる。
	○	コンビニ（経営者）	・競合店出店時は大きく売上は減少したものの、客足に復活の兆候がみられる。
	○	コンビニ（経営者）	・暖かくなってくれば、来客数は増える予想である。全てにおいての値上げが早く収まってほしい。
	○	高級レストラン（経営者）	・期末や人の移動の時期でもあり、物価高騰も落ち着きを見せてきているため、景気は上向きに転ずるとみている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・1～2月がかなりひどい月だったが、これ以上悪くはならず、ある程度、物価高に客が慣れて、少しずつ動きが出てくるとみている。3月は県内で各種イベントがあるため、県内外からの客の動きも出てくる。
	○	観光名所（職員）	・外国人のスキーや雪見客が多くみられ、スキーリゾート関連と近隣の飲食店や宿泊施設は好況である。雪解け以降の見通しはつかみにくいだが、インバウンド需要に多少の期待をしている。
	○	遊園地（職員）	・正月期間に続いて、卒業旅行のシーズンに向けたセールスやイベントを打ち出すことで、より多くの客の来園を期待している。
	□	商店街（代表者）	・今の商店街の傾向からみて、本当に人が通らない。買物客が来るような店もなくなっているため、今後1～2年がどうなっていくのか心配しながら、街をみている。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・人の移動の季節ではあるものの、賃貸住宅には生活必需品が完備され、以前のようなこの時期の売上は期待できない。ひたすら買換えを待つだけの静かな状況が続く。消費者もよほどの施策が出てこないと購入には至らず、厳しい状況である。
	□	百貨店（経理担当）	・原材料、野菜類、燃料費等の高止まりが続くようであれば、日常買い回り品を除く部分の消費は厳しい状況が続く。3月は年間でも売上がある月なので、人流と併せて購買意欲が高まることを期待する。
	□	百貨店（営業担当）	・全般的には春闘を迎え、賃上げの期待感もあるが、電気料金を含め、米価の高騰等、物価高である。実質的に賃金はマイナスという状況で、どこまで消費に向かっているかというのは、まだ分からない。
	□	百貨店（店長）	・大きく変わる要因がない。我々小売業にとって、現在の物価高が収まれば状況は変わってくるだろうが、その兆候もみえない。
	□	スーパー（経営者）	・賃上げ幅の伸びも見込めそうなので、マイナスにはならないとみている。
□	コンビニ（経営者）	・客が比較的、単価の低い商材を望む傾向にある。コンビニは割高感があるため状況は厳しいものの、コンビニ特有のお金の使い方もあるので、それほど変わらない。	
□	コンビニ（エリア担当）	・エネルギー高だけではなく、物価高も大きく生活に影響している。	
□	コンビニ（店長）	・値上げも大分進み、客の購買意欲に影響は少ないとみていたが、多少影響は出てくるだろう。気温が高くなってくれば、いろいろと商材も動いてくるため、良くなるとは想定しているものの、金額面では余り良い情報がないため、総じて変わらない。	

□	家電量販店（店長）	・集客の減少が続いている。
□	その他専門店〔酒〕（店長）	・米価上昇も大変だが、価格上昇だけではなく米の調達も難しくなっている。また、日本酒も原料価格が上がっているため、必ず価格に転嫁される。後々どのような状況になるかというのは、そのときになってみないと分からないが、給料や手取りがどのような状態になるか次第ではあるが、物価上昇の方がはるかにスピードが速いため、更なる2極化が予想される。
□	スナック（経営者）	・そろそろ企業では異動の時期になるため、本来なら歓送迎会などで忙しくなるはずである。最近の傾向をみていると、本当に皆早く帰るし、会自体を余りやらない傾向も出ているようで、当てにならない。
□	観光型旅館（経営者）	・地元客の動きは良くないものの、首都圏からの客の動きが順調である。また、僅かだがインバウンドも増加傾向にある。降雪の心配のない5月以降は、首都圏からの客も一段と動き出すため、売上の良い状況が続く。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・現状の予約数は、2～3か月前の今月の予約と変わらないため、同じ動きになるかとみている。
□	旅行代理店（副支店長）	・物価上昇の影響を受け、旅行業界も価格改定が進んでいるが、極端な仕入価格の高騰により、旅行代金を引き上げなければならず、これを受けて客の動向も鈍くなると考える。
□	タクシー運転手	・10月以降、段々と悪くなっている。10月は前年比90%、11月は85%、12月が90%、1月は92%で今は85%くらいである。以前は深夜2時までは動いていたものだが、今は12時には終わってしまう。
□	通信会社（社員）	・4月以降の新サービス開始やエリア拡張で、加入増加を狙いたいところだが、未知数な部分も多く、現時点では動向が読めない。
□	通信会社（社員）	・上昇傾向になることは難しく、物価上昇と賃金上昇の兼ね合いではないかと考えている。
□	ゴルフ場（副支配人）	・前年1年間やここ3か月の様子、周辺コースの状況をみても、改善する様子が見受けられない。
□	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・一般客については、引き続き良い状態が続くと予想される。団体客が新型コロナウイルス感染症発生前まで戻ればよいが、現状7割程度にとどまっている。
□	その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・原油価格の高騰に困っている。
□	住宅販売会社（経営者）	・当市は以前、移住希望者数が上位だったが、県内の他市や他県が取組を強化した結果、移住希望者数は減少傾向にある。このため、別荘に関する需要は減っていくと予想される。
▲	商店街（代表者）	・良くなる材料はほとんどない。
▲	商店街（代表者）	・客の様子から、必要な物以外にはお金を使わないように見受けられる。
▲	コンビニ（経営者）	・1～2月は売上と来客数がほぼ同じで、前年をやや下回っている。これから暖かくなるにつれて、人の動きも活発になるが、この物価高でこの先どうなるのか。給料日前の3連休は、天候は良くても人は入らず、悲惨であった。期待をしないで発注していたが、それ以下の動きである。
▲	乗用車販売店（経営者）	・新型車イベントが乏しく、足元の受注が1割程度減少しており、回復の見通しが立っていない。
▲	乗用車販売店（総務担当）	・物価高の影響が収まらない。
▲	自動車備品販売店（従業員）	・新年度に更なる価格改定等、物価高による値上げが予定されており、消費が伸びにくい状況である。
▲	ゴルフ場（経営者）	・食品や生活必需品の価格高騰に対して、特に、中小企業では、控除枠据置きや労働時間短縮のなか、昇給もままならず、高い経営手腕を有する会社しか生き残れない雰囲気が出ている。
×	スーパー（店長）	・物価が高く、値上がりしが止まらない。主食やガソリン代が高くなり、ぜいたく品につながる商材は数字が伸びにくくなっている。
×	コンビニ（経営者）	・良くなる要素がない。

	×	スナック（経営者）	・経済が混乱しきっているから正直どうなるか分からない。デフレが終わるのは望ましいことなので、頑張ってはいきたい。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・年末年始の回復傾向は一時的な雰囲気だったが、それが間違いなかったかのように、目を追うごとに悪化傾向に向かっている。個人客の減少や法人の鈍化、物価高、金利上昇、悪い要素しか見当たらない。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	窯業・土石製品製造業（経営者）	・大口の受注が見込まれ、生産量が増える方向である。
	○	金属製品製造業（総務担当）	・半導体需給が回復し、やや良くなる。
	○	建設業（経営者）	・春らしい天候になりつつあるため、工事の間合せも少しずつ増えてきている。
	□	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・地金が高騰しており、販売したら同じ値段では制作できないため、販売不振でも簡単に値下げすることもできない。新しい物を数多く作ることは当分難しく、客にも在庫に目新しさが無いといわれるが、しばらくこの状況は続く。
	□	金融業（調査担当）	・観光関連は、積雪が多いスキー場周辺を中心に需要は堅調なもの、物価高で個人消費に抑制姿勢がみられる。製造業は半導体関連を中心に、少しずつ受注持ち直しの兆しも予想されるが、まだ時間を要する見通しである。米国政権の政策の影響も懸念される。
	□	金融業（経営企画担当）	・3か月先程度では、まだ変わらないと考える。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・消費喚起のための折込チラシ出稿が微増ではあるものの増えており、今後もその傾向が続くと予想される。
	▲	食料品製造業（営業統括）	・諸物価の上昇により、消費者の購買意欲の減退がみられる。特に、ワインのようなし好品については敬遠する傾向にある。
	▲	食料品製造業（総務担当）	・原材料価格の値上がりが続くそうなので、やや悪くなる。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・耐久消費財への支出が低迷していることに加え、新生活向け商材売上の減少が予測される。
	▲	電気機械器具製造業（従業員）	・今後の株価、円相場によって左右されるとみているが、影響は非常に大きくなる。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
×	電気機械器具製造業（経営者）	・注文や見積案件が減っている。資材価格、人件費、光熱費は高騰しているが、販売価格は変わらない。周囲でも明るい話や好調だという話は聞かない。	
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	—	—
	□	人材派遣会社（営業担当）	・地方には中小零細企業が多く、ベースアップは見込めないため、購買意欲が湧かず消費に回らない。
	□	職業安定所（職員）	・変化する要因が見当たらない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・物価上昇が賃金上昇に追い付かず、中小零細企業は困難な状況が続いている。
	▲	職業安定所（職員）	・前月と変わらず、ガソリンなど燃料費の上昇や物価高、人件費の上昇による影響、政府の経済対策が流動的であること等、国内経済の先行きは見通せない状況である。また、自動車の輸入関税引上げなど、今後は米国政権が日本経済へ及ぼす影響や中国経済の動向などが懸念される。
	▲	職業安定所（職員）	・新規求人数の前年同月比が、7か月連続で減少している。
×	—	—	